



【学校教育目標】 日本一 学びあう学校

南風 ~ MINAMI KAZE ~

高知市立南海中学校 学校便り No. 8

令和5年4月14日（金） 通算 2154 号

高知市長浜 5235 Tel.088-842-3291

生きることの大切さを学んでいます

命・人権を大切にする学校

1955年（昭和30年）5月11日午前6時56分、濃霧の瀬戸内海で南海中学校修学旅行生121名（3年生117名、引率教員4名）が乗った宇高連絡船『紫雲丸』が別の船と衝突しました。高松港を出港してからわずか16分後のことでした。南海中の27名の生徒が亡くなり、1名の生徒はまだ行方不明のままです。紫雲丸に乗船していた乗客は全員で781名でした。全犠牲者168名のうち100名が修学旅行中の小・中学生でした。南海中では、毎年5月11日にご遺族や関係の方をお招きして慰霊祭を行い、毎月の11日に近い日の朝に月例祭を行っています。



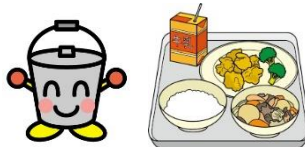
生徒会役員による月例祭（令和5年4月12日）

令和5年度の慰霊祭・月例祭の予定日

4月12日	生徒会役員	7月11日	3年2組	10月11日	2年2組	1月11日	1年生
5月11日	慰霊祭(全校)	8月16日	教職員	11月10日	1年1組	2月13日	2年生
6月12日	3年1組	9月11日	2年1組	12月11日	1年2組	3月11日	3年生

給食実施日 給食献立表をご確認ください

4月20日（木）から1年生でも給食が始まります。月別に配付される給食献立表は、長浜給食センターの7中学校分の共通献立です。その7校の中でも、各学校で学校行事等により給食の実施が異なります。そのため、7校共通の献立表で給食の記載がされていても、南海中では給食を行わない日がありますのでご注意ください。



そこで、南海中の給食実施日については、長浜給食センターの献立表とは別に、この「南風」等で事前にお知らせします。また、昨年度は土・日曜日の学校行事については、給食センターの稼働の関係で給食の提供はありませんでしたが、令和5年度は土曜日に限り学校給食を行う日があります。例えば、4月29日（土）の参観日・PTA総会の日、南海中でも給食を行いますのでお弁当の必要はありません。ただし、5月20日（土）の体育祭の日、日程の都合上、給食を行わない方向で検討しています（お弁当が必要かどうか後日お知らせします）。

南海中の授業における教員体制・指導方法等の工夫（令和5年度）

項目	主な教員指導体制の工夫
指導方法 工夫改善	① 5教科（国社数理英）の教員がそれぞれ3つの学年を担当し、教員どうしの連携を深めることにより、指導方法や教材開発の改善につなげる。 ② 数学のT T（ティームティーチング）。数学の授業で、教員2名体制で指導する。まずは1年の数学から行う。 ③ 全ての教科でタブレットPCなどのICT機器を使った授業を進める。また、英語と数学で生徒用デジタル教科書を活用した授業を行う。
学びあい	① 主体的・対話的で深い学びのある授業をめざす。年間を通じて専門的な講師を招き、すべての教員が研究授業・公開授業を行い、指導力を高める。公開授業は、保護者参観日と兼ねる。 ② コの字型座席配置やペア・グループ学習により、生徒どうしが関わりあい高めあう授業を通じて、積極的に学びに向かう生徒を育てる。
教科担任 交替制	教科の学習を通じて、生徒がより多くの先生と接することができるようにするため、学期ごとに5教科の教科担任の教員が入れ替わる。本年度は1年生で実施する。



南海中学校の部活動 心と体を鍛えよう（4月17日に部活動紹介）

心身ともに大きく成長する中学校時代に、心と体を鍛えることはとても大切なことです。また、顧問の先生や先輩・後輩など、学級以外の生徒とのよいつながりを持つことは、中学校生活をより豊かにしてくれます。南海中では、部活動ガイドラインに従い、次のように部活動運営を行います。

なお、現段階では高知市立中学校の部活動の地域移行について、具体的な対応が示されていないため、令和5年度の南海中では、これまでと同じように顧問の教員による指導を継続します。

【南海中の部活動のきまり】（大会前などを除く、文化部も同様）

- ① 原則水曜日と土日のいずれか1日は部活動を行わない。
- ② 活動時間は、平日2時間、休日3時間を基本とする。
- ③ 平日の活動は、18時までに学校の校門を出る。



部活動ガイドライン

中学生の心身の健全な発育を考え、国や各自治体が部活動の基本ラインを示したもの。学期中の活動は、平日1日以上、休日1日以上を休養日とし、活動時間は平日2時間、休日等3時間程度などと定めている。

部活動の地域移行

日本では、中学生の部活動を学校で教員が担ってきたが、教員の多忙化や休日の出勤等により、本来の業務である授業等に支障をきたしていることから、諸外国と同様にスポーツ等の活動を地域に移そうとする動き。